

平成30年第3回天城町議会定例会議事日程（第4号）

平成30年9月7日（金曜日）午前10時開議

開議

- | | | | |
|--------|--------|-----------------------------------------|------|
| ○日程第1 | 議案第60号 | 平成30年度天城町一般会計歳入歳出予算補正（第3号）について | 町長提出 |
| ○日程第2 | 議案第61号 | 平成30年度天城町国民健康保険事業特別会計歳入歳出予算補正（第1号）について | 町長提出 |
| ○日程第3 | 議案第62号 | 平成30年度天城町介護保険事業特別会計歳入歳出予算補正（第1号）について | 町長提出 |
| ○日程第4 | 議案第63号 | 平成30年度天城町後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出予算補正（第1号）について | 町長提出 |
| ○日程第5 | 議案第64号 | 平成30年度天城町簡易水道事業特別会計歳入歳出予算補正（第2号）について | 町長提出 |
| ○日程第6 | 議案第65号 | 平成29年度天城町一般会計歳入歳出決算の認定について | 町長提出 |
| ○日程第7 | 議案第66号 | 平成29年度天城町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について | 町長提出 |
| ○日程第8 | 議案第67号 | 平成29年度天城町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について | 町長提出 |
| ○日程第9 | 議案第68号 | 平成29年度天城町介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について | 町長提出 |
| ○日程第10 | 議案第69号 | 平成29年度天城町後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定について | 町長提出 |

散会

1. 出席議員（12名）

議席番号	氏名	議席番号	氏名
1番	昇 健児君	2番	叶 忠志君
4番	島 和也君	5番	大吉 皓一郎君
6番	久田 高志君	7番	秋田 浩平君
8番	上岡 義茂君	9番	松山 善太郎君
11番	鶴 博典君	12番	柏井 洋一君
13番	平山 栄助君	14番	前田 芳作君

1. 職務のため議場に出席した事務局職員の職氏名

議会事務局長 藤井 恒利君 議会事務局書記 宇都 克俊君

1. 説明のため出席した者の職氏名

職名	氏名	職名	氏名
町長	大久 幸助君	教育長	春 利正君
教委総務課長	基田 雅美君	会計課長	大久 明浩君
社会教育課長	神田 昌宏君	総務課長	米村 巖君
税務課長	岸 恭聖君	企画課長	前田 好之君
保健福祉課長	碓本 順一君	建設課長	昇 浩二君
水道課長	柚木 洋佐君	農業委員会事務局長	上松 重友君
農政課長	福 健吉郎君	農地整備課長	芝田 達士君
町民生活課長	森田 博二君	商工水産観光課長	祈 清次郎君
選挙管理委員会書記長	山田 悦和君	総務課長補佐	中村 慶太君

△ 開議 午前10時00分

○議長（前田 芳作議員）

おはようございます。これから本日の会議を開きます。

直ちに本日の日程に入ります。

- △ 日程第1 議案第60号 平成30年度天城町一般会計歳入歳出予算補正（第3号）について
- △ 日程第2 議案第61号 平成30年度天城町国民健康保険事業特別会計歳入歳出予算補正（第1号）について
- △ 日程第3 議案第62号 平成30年度天城町介護保険事業特別会計歳入歳出予算補正（第1号）について
- △ 日程第4 議案第63号 平成30年度天城町後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出予算補正（第1号）について
- △ 日程第5 議案第64号 平成30年度天城町簡易水度事業特別会計歳入歳出予算補正（第2号）について

○議長（前田 芳作議員）

日程第1、議案第60号、平成30年度天城町一般会計歳入歳出予算補正（第3号）について、日程第2、議案第61号、平成30年度天城町国民健康保険事業特別会計歳入歳出予算補正（第1号）について、日程第3、議案第62号、平成30年度天城町介護保険事業特別会計歳入歳出予算補正（第1号）について、日程第4、議案第63号、平成30年度天城町後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出予算補正（第1号）について、日程第5、議案第64号、平成30年度天城町簡易水度事業特別会計歳入歳出予算補正（第2号）について、以上5件を一括議題とします。

この5件の議案について、提案理由の説明を求めます。

○町長（大久 幸助君）

おはようございます。それでは、議案第60号、平成30年度天城町一般会計歳入歳出予算補正（第3号）について説明をいたします。

内容につきましては、歳入歳出予算をそれぞれ5億6千583万8千円追加し、予算総額を62億3千586万8千円に定めようとするものであります。

その主な項目について説明いたします。

歳入におきましては、地方特例交付金の決定に伴い13万円の増額でございます。地方交付税におきましては、普通交付税の決定に伴い3億1千675万2千円の増額、分担金及び負担金におきましては、民生費負担金の増など72万3千円の増額でございます。使用料及び手数料におきましては、A Y T使用料の減など51万7千円の減額、国庫支出金におきましては、災害復旧費負担金の増など3千699万7千円の増額、県支出金におきましては、教育費補助金の増など1千670万1千円の増額でございます。財産収入におきましては、日本エアコミカル株式会社の配当金443万8千円の増額、寄附金におきましては、15万4千円の増額、繰入金におきましては、土地開発基金繰入金など927万4千円の増額でございます。繰越金におきましては、前年度から繰越金といたしまして1億7千986万1千円の増額でございます。諸収入におきましては203万2千円の増額、町債におきましては、土木費債の減など70万7千円の減額でございます。

一方歳出におきましては、該当する款で人件費の補正を行っております。補正額と人件費以外の主な内容につきまして説明いたします。

総務費におきましては、財政調整基金、天城町公共施設整備基金積み立てなど5億316万2千円の増額でございます。民生費におきましては、社会福祉費の増など1千719万9千円の増額、衛生費におきましては35万2千円の増額でございます。

農林水産業におきましては、農地費の増など354万円の増額、商工費におきましては、観光費の増など106万8千円の増額でございます。土木費におきましては、住宅費減など573万円の減額でございます。総合費におきましては89万7千円の増額、教育費におきましては教育スポーツ施設ソーラーLED照明設置事業費の増など1千509万円の増額でございます。災害復旧費におきましては、台風10号に伴う現年度発生補助災害復旧事業費の増など2千916万円の増額、予備費におきましては110万円の増額でございます。なお、先日否決されました土地開発基金の繰入金につきましては、後日追加補正にて減額対応させていただきたいと思っております。

以上御審議のほど、よろしく願いをいたします。

次に、議案第61号、平成30年度天城町国民健康保険事業特別会計歳入歳出予算補正（第1号）について説明いたします。

内容につきましては、歳入歳出予算をそれぞれ1億6千680万9千円追加し、

予算総額を10億9千635万7千円に定めようとするものであります。

歳入の主な内容といたしましては、繰入金1億6千636万円の増となっております。

歳出の主な内容といたしましては、保険給付費163万8千円の増、基金積立金1億4千680万円の増、諸支出金1千725万3千円の増となっております。御審議のほどよろしくお願いいたします。

次に、議案第62号、平成30年度天城町介護保険事業特別会計歳入歳出予算補正（第1号）について説明します。

内容につきましては、歳入歳出予算をそれぞれ3千305万7千円追加し、予算総額を9億1千952万8千円に定めようとするものです。

その項目の主なものは、歳入におきましては、支払い基金交付金が4万4千円の増額、国庫支出金が4万1千円の増額、県支出金が59万円の増額、繰入金が2万4千円の増額、繰越金3千235万8千円の増額となっております。

歳出におきましては、総務費が2千141万9千円の増額、諸支出金が1千147万3千円の増額、地域支援事業費が16万5千円の増額となっております。御審議のほどよろしくをお願いいたします。

次に、議案第63号、平成30年度天城町後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出予算補正（第1号）について説明いたします。

内容につきましては、歳入歳出予算をそれぞれ242万7千円追加し、予算総額を7千200万8千円に定めようとするものであります。

歳入の主な内容といたしましては、繰入金242万7千円の増額となっております。

歳出につきましては、後期高齢者医療広域連合納付金242万7千円の増額となっております。御審議のほどよろしくお願いいたします。

次に、議案第64号、平成30年度天城町簡易水度事業特別会計歳入歳出予算補正（第2号）について説明いたします。

内容につきましては、歳入歳出予算はそれぞれ299万円追加し、予算総額を2億9千317万8千円に定めようとするものであります。その主な項目について申し上げます。

歳入につきましては、繰入金299万円の増額となっております。

歳出につきましては、一般管理費19万3千円の減額、維持管理費318万3千円の増額でございます。

以上、御審議のほどよろしくお願いいたします。

○議長（前田 芳作議員）

これから質疑を行います、各会計名とページを述べてから、1回につき二、三
点でお願いいたします。これから質疑を行います。

○5番（大吉 皓一郎議員）

まず、一般会計です。25ページの一番上のほうです。徳之島ダムの修繕費、こ
れについて少し詳しく教えてもらいたいと思います。

次に、同じく一般会計の、ちょっと待ってくださいよ、ありました、ごめんなさ
い。災害復旧費というところの現年度発生の補助災害復旧事業費の工事請負費、こ
の件に対して測量賃金も組んであります。これ何件で、どこどこで、どれくらいの
やつアバウトで結構ですけど、ゆっくり説明お願いします。

それとその次のページ、公共土木施設災害復旧費2で、これも件数と場所、もう少
しゆっくり数字的に言えるのであればアバウトでお願いします。例えばどれくらい
の大きさとか、そういった関係でお願いします。

あと1件いいですか、議長。

○議長（前田 芳作議員）

どうぞ。

○5番（大吉 皓一郎議員）

次に、国民健康保険特別会計歳入歳出の歳出、15ページの出産育児金、きのう
の説明がありました、ことしは大分子供が生まれたんじゃないかということで、
55名ということで、これ予想もしない数が生まれたもので、こういうふうに補正
組まなきゃならないのか、補正でやるちゅうのは、非常にたくさん生まれたのか、
補正が金額が見積もり誤って少し組んじゃったのか、そこあたりちょっとお願いま
す。多く生まれたのかどうか。

○議長（前田 芳作議員）

それでは、徳之島ダム管理施設費の修繕費用について。

○農地整備課長（芝田 達士君）

お答えいたします。

徳之島ダム管理費として、3町から負担金をいただいております。既に受領額か
ら29年度の額と差し引きました残額が106万5千円程度あります。これを今年
度の修繕費というところに入れてありますけど、まだ1年という経過がしていない
ものですから、いつどこで突発的な事故があるかということで、この金額をここに
のせてあります。

要するに、各町の負担額をいただいておりますが、実際29年度に使った金と差
額しますと106万5千円程度残っております。これを繰り越しで入れますと、ど
っかに入れないといけないものですから、どこに入れるかということ、修繕費のほう

が一番いいんじゃないかと思ひまして、ここ1年間という、まだ1年という12カ月のどういふ突発的な事故等があるかと思ひまして、ここに入れてあります。

○5番（大吉 皓一郎議員）

ストックして置いておくと、何かのため、総務課長こういう場合、こういうふうな考え方よりも予備費的なやり方がいいんじゃないかと思うんですけど、それを話し合いとかなかったですか。

○総務課長（米村 巖君）

お答えいたします。

財政のほうからしますと、天城町と徳之島町と伊仙町との基幹水利施設管理事業の事務の委託に関する規約というのがありまして、その中での4条予算の繰り越しということで、余剰金ということで取り扱いますんですけど、その分は30年度で予算の措置をするという形で、今回農整備課は修繕費に組んだということという説明を受けております。

○議長（前田 芳作議員）

次に、30ページ、農整備課長、現年度発生 of 災害復旧事業本工事について説明をお願いします。件数と場所と。

○農地整備課長（芝田 達士君）

お答えいたします。

この1千500万という工事なんですけど実際は3件です。補正前、後の20号ですか、そこにも2件ほど次回の補正にも載せますけど、場所ということですが、道路災害として松原の中ノ配田、松原寺原、西阿木名、加万答、3件の工事費です。

○5番（大吉 皓一郎議員）

どれぐらいどういう流れだったか。

○農地整備課長（芝田 達士君）

松原2件につきましては、工事名として道路災害、のり面が崩れて交通に支障を来しているということです。

西阿木名におかれましては、農地災害として圃場と圃場の間の、高さにして15mぐらいの土砂が隣の畑に崩れて、全3カ所ともふとんかごで処置をする予定ではあります、工法としては査定受けますと、ブロック積みになる可能性もあります。

○建設課長（昇 浩二君）

お答えします。

建設課の災害につきましては、場所は岡前地区と西阿木名地区と2カ所になります。いずれも河川災害として上げてあります。岡前地区であります、河川の岸が、

今までブロック積みをされておりましたが、それが崩壊しました。のり高が3mぐ
らい延長が20mほどということです。金額的には400万前後。西阿木名地区、
のり長2.5の延長として40m前後、700万程度と見込んでおります。いずれ
にしても、9月18日に査定官が来ますので、査定の後、工事の量というのは決定
するところです。

○保健福祉課長（碓本 順一君）

お答えいたします。

国民健康保険特別会計の出産育児一時金についてですけれども168万円の増額で
すが、昨年12月に当初予算を編成いたしております。その後に母子手帳の交付等
を調査しまして、国保該当者の方が4名いらっしゃるということで、追加の補正を
行っているところです。合計で9名の出産予定ということで見込んでいるところ
です。

これこの事業は、国民健康保険の方対象ですので、国保の方で、確実に今年度出
産があるなというのが9名見込んでおります。

○議長（前田 芳作議員）

ほかに質疑はございませんか。

○4番（島 和也議員）

2件ほどお伺いしたいです。一般会計の17ページ。

目の21ゆたかなふるさと基金繰り入れ事業費の中のふるさと納税事務システム
導入委託等その補修委託、これの中身のちょっと詳しい説明と、あと1件が
28ページ、教育費の中の教育スポーツ施設ソーラーLED照明設置事業費、これ
の中身をちょっと教えてください。お願いします。

○企画課長（前田 好之君）

お答えいたします。

島議員の質問に対しまして、ふるさと納税のポータルサイトと連携することが
でき、寄附者の必要事項を取り込むことができるほか、寄附者への送付に必要な受
領書またお礼状などの書類も一括で作成することができ、事務的に大幅に簡素化が
できる。

また、自治体と事業者間の注文、発送確認業務がよりスムーズにできることにな
るので、発送ミスやおくれなどトラブルが発生しないということでシステムを導入
したいと考えております。

○4番（島 和也議員）

済みません、それはどこに委託するんですか。

○企画課長（前田 好之君）

お答えいたします。

まだ予算が確定していませんので、どこと契約するという段階ではまだございません。

○教委総務課長（基田 雅美君）

それでは、教育スポーツ施設ソーラーLED照明設置事業にお答えいたします。

これは、県の鹿児島県地域を照らす再生可能エネルギー事業ということで、7月の中旬から8月の中旬まで募集期間ということで、急遽来ましたので、私今回の対象が教育文化施設5基、スポーツ関連施設が5基ということで、企画課のほうから教育委員会のほうに話が出ましたので、急遽応募させていただきました。

まず、教育文化施設に関しまして、各学校です、北中学校、天中、西阿木名小中学校、それに西阿木名幼稚園という5基一応しております。スポーツ産業施設に関しましては、都市計画地域内はだめだということで、本来は、この議場で一般質問で出ていましたB&Gの暗い場所、ハブの出る場所という計画をしていましたが、県のほうから都市計画区域はだめだという公園内はだめということで、急遽B&Gの体育館前、スパーク前、照明がないので3基、あと今回与名間でオープンしました艇庫のところに2基ということで、スポーツ施設が5基ということで、急遽まだ決定はしておりません。期間が短くて1月31日までの全て報告ということに事業がなっていたので、今回計上させていただきました。

以上です。

○議長（前田 芳作議員）

ほかに。

○11番（鶴 博典議員）

一般会計の歳入のほうです、ページは11ページ、今回地方交付税が3億1千675万2千円の増額補正であります。今の時期にこういう感じで上がってきておりますが、当初の中で事前に県からの査定に対しての指導もあると思いますが、このような形で上がってきた理由、どうしてこの差異が出てきておるのか、それが1点。

2点目は、特別会計の国保のほうです。今回、基金積立でございしますが、11ページですか、上がってきておりますが、30年度からの県全体ということでやっていると思いますが、この積み立てというのは、県からの指導によるものであるのか、また、毎年度このような形で積み立てとして上がってくるのか、一般財源からの財源でありますので、そこの2点、答弁をお願いします。

○総務課長（米村 巖君）

お答えいたします。

当初、25億1千455万4千円の計上でありました。その中で、今回3億1千600万の増ということで、これは、償還金とかその辺が発生する年度には、普通交付税にはね返るということで、毎回決定後の9月議会で補正をさせていただいております。

○保健福祉課長（碓本 順一君）

お答えいたします。

先ほどの御質問のとおり、平成30年今年度から県が鹿児島県全体の財政的な責任を担うということで発足しております。これの移行期間の間で、それぞれ各保険者が法定外繰り入れというところで、健全ではない運営が行われていると、そこに対する支援ですね、特別調整交付金という部分に含まれる分ですが、かなりの額交付されております。それに伴い、うちの国保のほうも30年度ベースで1億8千万余り基金積み立てができるところまで健全化が進んでいるところです。この基金につきましては、保険給付費、病院医療費、支払うべき医療費の3カ月分程度は基金としてたくわえておきなさいという条例がございまして、30年度に関しましては、ほぼ3カ月分に達しているところです。

以上です。

○11番（鶴 博典議員）

地方交付税の件ですが、これ算定の見積もり甘いからこうなったんじゃないですか。皆さんの当初の見積もりの中で、それだけ今の国保ですが、これ移行期ということではありますが、毎年このような形になってくる可能性が出てくるんですか。

○総務課長（米村 巖君）

お答えいたします。

ヒアリング等があります。当初予算、やはり見込んだ額というのを毎年交付税というのが変わってきますので、その中で交付税が決定をするまでに上回った交付税というのは計上をできないということで、そん中で大体30年度、年度ごとによって当初は、これぐらいは見込むということで予算を組みます。その中で、今回ヒアリングによって決定が今回の決定に伴った補正になりますので、その辺が私のほうも中身のヒアリング等を担当から聞く中からすると、3割減で予算措置をするとか、その辺の中で組んでいますので、その辺は、見積もり不足ということには、私としては考えておりません。決定に対しての予算ということですが、

○保健福祉課長（碓本 順一君）

お答えいたします。

先ほど申し上げた特別調整交付金なんですけども、これは各地域日本全国の医療の動向を見ながら、厚労省のほうから各県のほうに交付されます。それを受けて県

のほうは県内にそれぞれ案分率をかけまして、交付される額となっております。確定とは申しませんが、しばらくは多目にいただけるのかなど。ちなみに今年度、その法定外が100万ぐらいまで圧縮されているところです。さらにこれをもうゼロに、ここ数年では持っていけるのではないかという希望は持っております。

○11番（鶴 博典議員）

この地方交付税、これだけ余力が出てきたわけですよ、当初から見て、皆さんが総務課長の答弁の中で。町民の要望というのは一般質問でもありましたとおり、いろいろさまざまな分野で町民からの要望多いわけです。こういう単年度でこれだけの予算が、皆さんが思っているより多く入ってきたということでもありますので、積み立てもちろん必要かもわかりませんが、やはり町民に対しての一つの事業、補正あたりで対応できるものにおいては前倒しでやっていくと、そういう姿勢も必要になってくると思いますので、今後のこの残された年度の中でやる予定があるのかないのか。

○総務課長（米村 巖君）

鶴議員がおっしゃるとおり、やはり当初に向けて、各課からの事業関係、この予算を見ながら実施をしていくというのが、私たち目指していますので、今までは、やはりどうしても予算が云々というのが、この議場の中でも議論されてきましたが、余力、ここで毎年一般会計の中で1億5千万か2億ほどを基金から取り崩しも行いながら、予算成立をしている状況も続いていますので、今後の将来性とかその辺を見ながら、事業推進にいけたらと思っております。

○9番（松山 善太郎議員）

総務課長、今答弁の中で、毎年変わってくると、交付税が。毎年が変わってくるとおっしゃったけどそんな認識ですか、毎年変わってくる大幅に。

29年度に29億ね、28年度も29億、27年度も29億、30年度の当初26億見えている。ことしも間違いなく3億余分に今からくる。そのとってつけたような答弁はいけませんよ。変わっていないよ、この4年間。毎年29億ずつきているんだ。そう変わらん。それをまたことしも26億しか組んでいない。3億またきた、既に来た。多分。だから29億ずっと、大体29億ずつくるんだ。それ毎年26億ずつ組んで、3億ずっと浮かしている、きのうちよこつと言いましたがね、隠し財源じゃないのと。極端に言えば、悪く言えば裏金じゃないのと。国保もそうよ。国保も聞いてみようと思っていた。積み立てする理由、その理由は何ね。もう1回だけ。

○保健福祉課長（碓本 順一君）

ちょっとお時間いただきます。

○議長（前田 芳作議員）

それでは、ほかに質疑ございませんか。課長、ちょっと座って着席して調べて。

○13番（平山 栄助議員）

先ほど島議員のLEDの件なんですけど、28ページ。この例えば高さがどれくらいで、球のワット数ですか、平土野の商店街についているLED見ますと、ちょっと高さも低いような気がしますよね。そして明るさもそんなに感じないんです。どういったのを設置される予定なのか、もしわかっていれば、ちょっと詳しく説明ですね。

それとその29ページの中の款の10の目の9学校施設整備の中で、修繕量が129万円含まれておりますが、この説明ちょっと詳しくお願いします。

○教委総務課長（基田 雅美君）

まず、LEDに関して、今おっしゃった平土野とほとんど同じようなものを想定しております。高さは大体約3mの予定をしております。明るさはちょっと今、明るさとしても平土野を基準にしてやっているところでございます。

実は、期間も短くて、28年度のこれも参考にとということで、県のほうにも急遽お願いをして申請したところでございます。

あと、施設整理に関しましては、指摘を過去、29年度、28年度からの指摘を受けております、今回やっておりますが、やはり修繕料じゃ足りませんでしたので、そこを計上しています。まず北中学校が多くかかっているとは思いますが、ほかの西阿木名小中学校等も整理しております。

あと、これからまだ与名間分校等々、あと塀、若干ブロック塀とかもございまして、それ全て含めた形でのものであります。

以上です。

○13番（平山 栄助議員）

平土野のあのような機材というんですか、そういうのもう少しそこら辺を交渉の予知があれば、ある程度高さがないと、そんなにまでLEDの効果が、ないよりも確かにつけたほうがいいんじゃないかという気はします。それとあと、与名間の海水浴場ですか、塩害対策は大丈夫なのか。それと、備品監査のときも、ちょっとお願いはしているんですが、やっぱり西阿木名の幼稚園の環境整備ですね。そこら辺をもう少し踏み込んだ形で、ぜひ来期あたりは、町長も行って、12月で終わりますから、そこまで必要ない、教育長も教育委員の皆さん、やっぱり見られたほうがいいと思います。非常にハブの危険度もありますし、ちょっと環境としては最悪のパターンじゃないかなと思うんです、西阿木名の幼稚園の周り。ぜひそこら辺、地権者ともう少し踏み込んでいけば解決できるんじゃないかと思いますので、せつ

かくこういう予算がありますので、そこら辺ちょっと申しつけておきますが、その艇庫の与名間の海水浴場の。

○教委総務課長（基田 雅美君）

塩害に関しましては、前回28年度に設置した委託した設計士さんのほうに、ちょっと今回塩害に関しても、こちらのほうは台風に関して大丈夫なのかどうか確認はしております。大丈夫だということと、あとやはり性能が大分よくなっているという話を聞いておりますので、性能がよくなって、金額がそんなに変わらないという話は聞いております。

以上です。

○議長（前田 芳作議員）

先ほどの、松山議員に対する答弁を求めます。

○保健福祉課長（碓本 順一君）

お答えいたします。

国民健康保険の基金につきましては、赤城町国民健康保険基金条例というのがございます。その中に、保険給付費の平均3カ月分に達するまで積み立てるものとするというところで定められております。済みません、確認はしていないところなんですけど、この基金につきましては、国民健康保険法に基づいた中で制定されているものと認識しているところです。

○9番（松山 善太郎議員）

その3カ月分、1カ月分の医療費が幾らで、今3カ月分に達したのかどうか、念を押しておきます。

○保健福祉課長（碓本 順一君）

お答えいたします。

3カ月分で、一応今年度ベースで1億7千896万9千円余りです。ちょっとオーバーしていますが、ほぼ3カ月分に達したところです。今年度の基金予定額が1億8千596万4千円になりますので、達しました。

○9番（松山 善太郎議員）

1億8千万ですか、今2億ぐらいになったんじゃないの、基金は、この分を入れると。違いますか。

○保健福祉課長（碓本 順一君）

9月現在の国保会計の基金につきましては1億8千596万4千円になっております。

○9番（松山 善太郎議員）

この1億6千何百万入れてですか。1億6千幾らでしたかね、今度、積み立ては、

待ってよ。幾らですか、今回の積み立て。今その予算書にありますね、きよろきよろ見ないでも。

○議長（前田 芳作議員）

1億4千680万。

○保健福祉課長（碓本 順一君）

失礼しました。決算年度末の残高が3千916万3千円となっております。30年度に積み立てを行いまして、9月現在で1億8千596万4千円ということです。

○9番（松山 善太郎議員）

それと前、これが気になるのは、前移行そるときに全員協議会で説明がありましたよね。全員協議会で説明したときに、今の税金を下げる余地があるというお話をしたような気がします、違いますか。今の税金、国保税を下げれる余地があると、県の見直しでは、天城町は。県が一覧表の税金の一覧表が出ましたがね、あのときに天城町税金を下げる余地があったんじゃないですか、かなり。

○保健福祉課長（碓本 順一君）

お答えいたします。

あのときの数値のものが、1億数千万余りの法定外繰り入れ、これも計算した上でのところなので、その法定外繰り入れをしちゃいけない法定外繰り入れを外すととんとんかちょっと赤字というレベルです。あの当時の計算は、法定外繰り入れも参入されてのことでした。

○9番（松山 善太郎議員）

一応了解です。繰り入れは、法定外繰り入れがなくなって税金を下げる余地がなくなったという解釈でいいわけですね、わかりました。先ほどの教育委員会のところで、車の借上げが減額になっていますが、これはこういった形で契約がなされておるのか。

○教委総務課長（基田 雅美君）

お答えします。

今回見積もりをとる中で、若干時期がおくれてしまったその分だけ減額をさせていただいております。

○9番（松山 善太郎議員）

契約の内容はどうなっているのか聞いているんですが。

○教委総務課長（基田 雅美君）

実は今、見積もり入札しているところです。中身の金額の確定はできておりません。ですが、今回落とした分は、これから契約するだろうという期間だけの分だけ

残したところですよ。

○9番（松山 善太郎議員）

気になったのは、60万でしたよね、数字ぱっと見て25万落としたら35万残る。どうも2万5千とか3万とかそういったのでは割り切れないんですね、35万というのは $5 \times 7 = 35$ しか頭に浮かばない。どういった契約したのかなと思ったんで1年分なのか、途中から始まるのか、ですから、その25万で落とし方が割り切れない数字なもので、ぱっと目についたわけですけどね。ほかの各課にも、一応これに関して聞いておきますね。当初で5掛ける12の60万でかなりの台数を叢書予算にのせましたね。これはどうなっているのか、各課、2、3ヶ所でいいです。総務課長の局あたり、契約はどういうふうになっているのか。

○企画課長（前田 好之君）

お答えいたします。

毎月5万掛けるの12カ月、約60万を予算を計上してございました。先般の議会からも、そういった議員の皆さんから御指摘がありまして、3年間の買い取りリースということで企画課としては契約をいたしました。今も車も納車されております。月に4万7千は3年間ということですので、車両価格を3年で割れば月額が4万7千円程度ということでありまして、企画課のほうでは8月に購入いたしましたので、4月から7月分の予算は減額補正という形でとらせていただいております。

○9番（松山 善太郎議員）

ここで減額してあるわけね。

○企画課長（前田 好之君）

はい。

○9番（松山 善太郎議員）

3千円の3万6千円、それはちょっと、4万7千の12カ月、10カ月47万に56万、全額で160何万ですか。160何万で車を買うという計算でいいですか。

○企画課長（前田 好之君）

お答えいたします。

正確な金額は覚えていませんけど、150、60万程度だったと認識しております。

○9番（松山 善太郎議員）

しつこいようですが、車はどんな車ですか、160何万程度の車というのは。

○企画課長（前田 好之君）

お答えいたします。

軽貨物車ということになります。新車を購入いたしました。それとあとは、定期

点検、車検込みという価格になっております。

○議長（前田 芳作議員）

ほかに。

○11番（鶴 博典議員）

特別会計介護保険であります。ページは4ページからですが、まず繰入金がございますね、1億3千139万、その下のほうに繰り越しで3千235万8千円、この予算の流れを見てみますと、歳出のほうで、また積み立てをやっていますよね。繰り入れをして、また5ページのほうでは前年度の歳計余剰金の計上ということで3千235万8千円、それを繰り越しにしております。これだけのお金の剰余金が出ながら、繰り入れをして、なおかつ積み立てと基金、この金の流れを前もって剰余金が出る確定というのが、年度終わって5月末にならないとはっきりしないと思うんですが、ほぼ読めると思うんですが、その予算の流れが、どのような形でこういう組み方になっているのか。また前年度も剰余金はあったのかどうか。

○保健福祉課長（碓本 順一君）

お答えいたします。

実は第7期の国保計画の中で、介護保険料かなりのアップがありました。その一つの要因として天城町の介護会計は基金を持っておりませんでした。その中で介護給付費のほう伸び続けて、これまでは一般会計からお金のほう回してずっとやりくりしておりましたけれども、どうしても介護保険の仕組みの中で、半分は保険料で見なさいというところがございまして、いわゆる法定外繰り入れのところができないという現状がございます。その中で基金を持たずに介護会計を維持し続けることは、非常に困難であるという中で、今年度から何とか基金積み立てた中でやっていけないかなと考えているところです。

○11番（鶴 博典議員）

剰余金の確定は。

○議長（前田 芳作議員）

その剰余金が確定するのは何月ですか。

○保健福祉課長（碓本 順一君）

前年度の確定につきましては、5月末が確定になります。

○11番（鶴 博典議員）

これはだから、その前の年、今度の決算になりますと28年度はどういう状態になっていましたか。今回の29年度はこういう計算であります。その前の28年度の状態。

○保健福祉課長（碓本 順一君）

28年度につきましては、済みません、はっきりとした数字を申し上げられませんが、余剰金というものは出なかったと認識しております。

○11番（鶴 博典議員）

これだけ繰り入れをして、また剰余金出しておるわけです。そこら辺の見積もりなんですね。その差額分、これが皆さんの把握されている部分の年度内の流れの中で把握されておれば、3千万の結局は遊びになるわけですね、その期間内の。そういうのがはっきりしておけば、なるべく差異を少なくすれば、ほかの部分の予算で金自体が回っていくわけなんです。そのお金の流れがどこで使われているのか、最後まで確定するまで、はっきりまだ読み切れないのか、流動的であるのか、そこら辺なんです、介護保険の金の流れが。皆さんの1年間通しての予算の流れの中で。それが近い、例えば今の3千万、これは差異を少なくすればその部分その金で、一般会計ほかの事業が導入できるわけです。さっきの交付税の確定にしてもそうですが、ここら辺の遊びが余りにも大き過ぎるんじゃないかとそういう思いがしておりますので、前年度、その前の流れ、予算の流れ、給付とかいろいろ支払いあると思いますが、そこら辺を的確に把握されてやっていければ、もっと緩やかな金の流れができるんじゃないかと思いますが、そこら辺は要請をしていきたいと思います。

以上です。

○4番（島 和也議員）

先ほどちょっと聞きそびれたんです、ふるさと納税の件。これ中身の品物とかそういうのも、そのシステムの中でやりくりするんですか。それとも事務処理のシステムだけで。

○企画課長（前田 好之君）

お答えいたします。

大体大枠では、事務処理を一括してこのシステムで行うということです。ですから、その商品の云々ではなくて、商品を発送する側への伝達、また受領書とかそういったものを、大まかに言えば事務的処理のシステムということになります。

○4番（島 和也議員）

私はちょっと質問した経緯があって、どうしても29年度で徳之島町は3億余り、天城町は2千万余りの納税があったと、納税というか。やっぱりこれを縮めるための努力というのは中身だと思うし、久田議員も言っていましたように、徳之島という冠を頭に持つべきじゃないかという話もありました。やっぱり早急にそういうことも手がけるような、せっかくシステムという形の中に入っていくんで、だからその辺も考慮した形を今後、早急にやらないと実績として徳之島町出しているわけだから、隣のまちが。やっぱりここはちょっと思わぬ金が入ってくるという感じで、

予算措置しなくても入ってきますので、やっぱりそこはちょっと努力してすれば簡単に使える金ができると思います。そこちょっと頑張るべきだと思うんですけど。

○企画課長（前田 好之君）

お答えいたします。

実は、ことし今年度から補正に組ませていただきましたけど、いろんな機会あるごとに島外に出てPRを郷友会とかそういったところに行って鹿児島県の出先機関に行って、そういったところで今PR活動を進めております。

そして、天城町としては、他市町村と比較するわけではありませんけども、返礼品の額を抑えた形でやっておりますので、納付金額は3億あろうが5億あろうが、そのうちの正味が幾らあるかということが問題でありますので、私ども国からは総務省からは、3割以内の返礼品にとどめてほしいということがあります。天城町としては、その辺のところは極力それに沿った形でやっておりますけども、若干違うところも高いところもありますけども、その辺のところも踏まえてやっているつもりです。

○7番（秋田 浩平議員）

一般会計の歳出の社会福祉費の償還金利子及び割引料という中で、身障福祉費負担金返納金1千100万とありますが、この説明と、あとはその19ページのその上の扶助費の400万です、この2つの説明と、あと商工費の観光費の中に、需用費で修繕料が74万、原材料費34万3千円とありますが、この説明2点、3点になりますようお願いしたいと思います。

○議長（前田 芳作議員）

秋田議員、19ページの。

○7番（秋田 浩平議員）

19ページの。

○議長（前田 芳作議員）

民生費の中の社会福祉費ですね。

○7番（秋田 浩平議員）

扶助費と償還金、20と23。

○保健福祉課長（碓本 順一君）

お答えいたします。

これ両方とも29年度の精算ということになります。制度上、どうしても年度をまたいで精算時期がきてしまいますので、この時期6月ちょっとですけど、6月からこっちに確定がくるということで、担当のほうから聞いております。

○商工水産観光課長（祈 清次郎君）

お答えします。

観光費の修繕料のほうですが、台風8号被害によります与名間ビーチ、バースハウス屋上の転落防護柵、東側の被害が出ております。これが27万円。そして台風10号の被害によりますプールのろ過室の両扉の被害が発生しております、47万円。2件とも台風災害によるものですが、これについては、災害共済金のほうが歳入で約4割程度入ってくる予定となっております。

次に、同じく観光費の原材料費34万3千円であります。犬の門蓋展望台のところの原材料、これに関連しまして7の賃金はその分の整備人夫賃でございます。

以上です。

○7番（秋田 浩平議員）

多分そうじゃないかなと、需用費の修繕料がちょっと与名間ビーチということで、原材料費、これは私、前に課長に相談した経緯があります。もっと何で早くできなかったのかなと。今観光シーズンになって、ロープ張っている状態はちょっとまずいんじゃないのという話をしましたが、こういうところ、せっかく観光名所で、やっぱりお客さん来ます。こういうのを発見されたのは、多分1年、2年前だったと思います。少しの不備が出ていたのが。だから、そういうところが、もうちょっとこういうのを観光施設、今ムシロ瀬とか個々ありますけど、湾屋の洞穴のところも椅子のところ屋根かけできないかとかいう話もあります。だからもうちょっと迅速にこういうところは進めていってほしいと思います。

○商工水産観光課長（祈 清次郎君）

その辺、また迅速に的確に対応していきたいと考えております。

○議長（前田 芳作議員）

ほかに。

○12番（柏井 洋一議員）

2点ほど。23ページの食育、地産地消推進支援事業費のこの食育ホーム推進委託というふうになってはいますが、この説明と、24ページの農林水産業費の農業施設費193万7千円、これ南部ダム堆砂調査測量負担金となっておりますけど、これ神嶺ダム、この伊仙のダムと3カ所、一体で一緒になって委託ということで聞いておりますけど、この中身を説明をお願いします。

○議長（前田 芳作議員）

23ページの食育・地産地消推進支援事業の食育ファーム推進委託についてのところ。

○農政課長（福 健吉郎君）

お答えいたします。

従来、食育地産地消のこの事業で各学校に教育ファームとして、1校につき5万円の補助を出しておりました。昨年までは、一応補助金という形で県のほうにも通していたんですが、ちょっと若干補助という形よりは、その事業を学校にやっていただいているという委託のほうがいいんじゃないのということにしまして、今回30年度から補助金でつけていたものを、各学校に対する教育課の委託ということで40万円組みかえております。

○農地整備課長（芝田 達士君）

お答えいたします。

これは、答弁の南部ダムの堆砂調査の負担金です。3町ですればメリットがあるということで、案分率として徳之島町が35%、天城町が29%、伊仙町が36%とという、総額にして664万2千円程度です。各町でしますと、天城町で193万7千円です。3町ですれば済むんですが、単独ですれば220万円程度かかるということです。

工事の内容としましては、深淺測量といたしまして、杭を打って測量いたします。また、河川横断測量といたしまして、また杭を打ちます。その杭の本数としまして徳之島が44本神嶺ダム、南部ダムが20本、東部ダムが26本、ここでちょっと気になるのが神嶺ダムが44本に対しまして南部ダムが20本という半額ぐらいになるんじゃないかなと気になるだろうと思います。これは、神嶺ダムにおかれましては、距離標設置測量といたしまして、2年ほど前に測量済みであります。南部ダムと東部ダムに関しましては、いまだにしていないということで、この金額になっております。

以上です。

○議長（前田 芳作議員）

しばらく休憩します。11時20分より再開します。

休憩 午前11時07分

再開 午前11時20分

○議長（前田 芳作議員）

休憩前に引き続き、会議を開きます。

ほかに質疑ございませんか。

○9番（松山 善太郎議員）

忘れそうになりますけど、とりあえず覚えているとこ、30ページ歳出の、災害復旧費、農林水産施設災害対策費の委託料、積算システム委託というのがあります。これについてまず説明をお願いします。ぜひ必要なかどうかも含めて。

○農地整備課長（芝田 達士君）

お答えいたします。

できれば職員で設計等ができればと思ってここに入れてあります。一般の農業施設費も入れてありますけど、できれば補助金でここで対応できるんじゃないかなと思ひまして、ここに計上してあります。

○9番（松山 善太郎議員）

補助金で対応するというのですが、ということは当初で組んだやつと同じのですけど、当初のやつのかわりにこれを入れるということですか。それとも両方とも入れるということですか。

○農地整備課長（芝田 達士君）

まずは、対象になるか判断できませんが、両方に入れてありますけど、どちらかいずれは落とそうとは思っております。

○9番（松山 善太郎議員）

今現状では入れていないということですか。当初で予算措置した分もまだ入れていないということで解釈はいいですか。

○農地整備課長（芝田 達士君）

当初で同額入れてあります。またここで対象になれば、当初を落とすなりして対応していければと思っております。

○9番（松山 善太郎議員）

わかりました。

○議長（前田 芳作議員）

ほかに。

○9番（松山 善太郎議員）

あと1点ほどです。土木管理費で給料と職員手当が落ちているんですが、今の時期何ででしょうかと思っております。これについて説明をお願いします。

○総務課長（米村 巖君）

お答えいたします。

これは、当初6月補正でマイナスをしなければいけないのをプラスで上げていまして、これはこちらのほうの事務的な手違いということで、今回9月議会で落とさせていただいております。

○9番（松山 善太郎議員）

6月の補正というと、4月で異動があったという解釈でいいんですか。

○総務課長（米村 巖君）

お答えいたします。

4月の異動とそれから採用ということの中で、6月補正で、先ほど申し上げましたように、この時点でマイナスしなければいけないのをプラスをして上げていてということで、今回マイナスで落とさせていただきますということです。

○9番（松山 善太郎議員）

間違ったらもうちょっと素直に言わないと、間違っただのをさも当たり前みたいに言ってもらったら困りますよ。間違っただけでしょ、6月でやるべきやつを、見る人が見たら異動なのかな、退職なのかなと、あれと思いますよ、私はすぐ。

それと、共済が伴っていないのはどうしてですか。普通かなりの額の共済がくると思いますけど。関係ないわけですか。

○総務課長（米村 巖君）

済みません、説明が。共済については、その時点でマイナスということで処理をさせていただきます。

○9番（松山 善太郎議員）

やはり共済費だけ現時点で落としたちゅうのも腑に落ちないんですが、やはり給料と手当と共済はセットですので、普通。そこら辺はやっぱり見栄えのいいように。

あと一つ、その上です。県道の管理か何かで重機借り上げを組んであったと思うんですが、同じページですね、ごめんなさい。重機借り上げを組んであるんですが、70万7千、これ県道管理における委託を私はこれは賃金とかそこらに使ってほしいんですが、こんなに車を買ったり重機借り上げにお金を使ったりしないといけないもんですか。重機借り上げの内容をわかりやすく説明お願いします。どうも腑に落ちない。

○建設課長（昇 浩二君）

お答えします。

昨年度から、その点については職員を雇いなさいという話がありました。昨年度暮れごろから募集をしておりましたが、4月はその方向で、採用されれば2人ぐらいで動いてもらおうという形で予算を組んでおりました。4月になって5月になっても応募がなかったということで、例年どおりの枠に戻させていただいたということです。

○9番（松山 善太郎議員）

重機借り上げの件と、重機借り上げ。こんなに、どんな機械借りているのか。

○建設課長（昇 浩二君）

重機ですか、重機は現場で積み込みのユンボ、あるいはタイヤショベル、ダンプ等を使用させていただいております。

○9番（松山 善太郎議員）

確かに建設課は機械を持っておると思うんですが、その機械がどうしても間に合わないわけですか。県道の管理でしょ。県道の管理するのに、そんなに大型機械を持って来ないとできないような県道の管理というのはどういったもんね。

○建設課長（昇 浩二君）

建設課の持っている機械は、建設課のほうで使用させていただいております。今この県管理道路におきましては、建設課の雇用人夫では間に合いませんので、業者のほうに人夫委託あるいは重機借り上げ等で委託しております。委託ではありません、発注でもないですね、お願いをしているというところです。

○9番（松山 善太郎議員）

課長ね、そこら辺はわかるわけです、もちろん重機を借りるわけですよ。当初予算と合わせますと180万近いんじゃないですか。180万重機を借り上げて、どんな作業をしているのかということです。しかも県道で。町道でもない農道でもない山中にそこそこするわけじゃないでしょ、県道だから。だから具体的にどういった作業をしているのかというのが知りたいわけです。

○建設課長（昇 浩二君）

伐採したやつを搬送したり、その積み込みに利用したり、そういったところに使っておりますが、県道ですので、そこら辺にほっておくわけにもいきませんので、ちゃんと処理をして処理のために重機も使用いたしております。

○9番（松山 善太郎議員）

町道の管理もしているんですか、この分で、違う。違ったらそんなに県道の本を切っているの余り見たことないよ、私がここから与名間に帰るまで。道の上にかぶさっている木を伐採しているのもそんなに見たこともないですし、切っているようであれば、その伐採した木を搬送するわけでしょ。そんなにないんじゃないですか、180万。借り上げがどのくらいかかるもんかはわかりませんが、180万ですよ。715万のうちの3割。2割5分ぐらいでしょ。

○建設課長（昇 浩二君）

重機が特殊ではさみ等を使いますので、その単価も違います。高くなります。それと、県道部分にある枯れ松等の伐採等も含めますので、そこら辺もお願いしておるところでございます。

○9番（松山 善太郎議員）

簡易水道事業、一つだけ。簡易水道事業の歳出の6ページ。これ当初でどれだけあったかわかりませんが、普通旅費が10万6千円含まれております。これは突発的に出てきたものなのか、あと備品購入費が何なのか、その2点だけです。

○水道課長（柚木 洋佐君）

お答えします。

普通旅費ですが、公営企業の経営戦略に係る研修会ということで、職員も新しくなっておりますし、そこら辺の研修をさせないと平成32年度に向けてのこともできないということで、組ませていただきました。

それとあと実務研修会、職員が新しいので、やっぱり1回ぐらい行って勉強させてあげたいという思いがありまして、10万円ほど組みました。備品購入につきましては、メーター検針用のタブレット、10台今年購入してありますが、あと1台三京地区のほうに組んでいなかったもので、そこら辺とまた予備としても持っておきたいという思いがありまして、メーター検針用のものであります。

○8番（上岡 義茂議員）

歳出16ページの目、交通安全対策の道路ミラー設置修繕代が10万5千円ありますが、場所そしてこれ全町内のミラーの設置の要望等もあるところは、完璧に設置されているのか、そののところ1点と。目の14、天城町自衛隊誘致対策費の106万9千円の補助が組まれています。この協議会もありますけども、私前も申し上げましたが、その協議会のメンバーにその係の委員長、総務建設でもいいです、委員長が入っていないところ、そのところの協議なされたのか、そのところ説明をお願いします。

○総務課長（米村 巖君）

お答えいたします。

台風等による道路ミラーの修繕ということで、ちょっと場所を今一覧を持っていないものから、その中で報告を受けた分を、今回補正で対応させていただきました。それで、当初予算については、今材料をそろえていますので、早急にまた要望のあった地区から徐々に整備をしていくということで担当のほうは動いております。

○企画課長（前田 好之君）

お答えいたします。

今年の6月でしたか、5月でした、1回防衛省のほうに誘致協議会の方々が出向いております。その中で誘致協議会に携わっていただいております国会議員の方から来年31年度に中期防衛計画大綱が作成されるということで、もしかしたらもう一度皆さんに御足願うかもしれませんということがありまして、それがいつになるのかちゅうことは、まだ定かではないんですけども、年度内にもうしそういった要請がありましたら伺うということで、その分を補正を組ませていただきました。

それと、委員長の件であります。上岡議員のほうから6月に御指摘を受けまして、誘致協議会の会長のほうにはその旨を伝えまして、私どもの手違いというか配

慮が欠けていましたので、そのようなところも今後は対応していきたいということ、会長のほうからは了承をいただいております。

○8番（上岡 義茂議員）

この交通安全対策なんですが、ミラーも大事ですが、事故多発地点の浅間の私前申し上げました空港入り口芝商店の前、あそこはもうしょっちゅう事故は起きているんですね。あそここのところの信号機の設置の件は、話されることないですか。もうしょっちゅう接触事故が起きてやっていますが、そここのところ。

○総務課長（米村 巖君）

上岡議員のおっしゃるとおり、2年前ですか、関係者、徳之島警察署、県、県道も入っていますので、その当時の県庁、それから交通担当ということで道路診断というのを行っております。その時点で町としての要望は、やはり信号設置ということで、これはどうしても警察管轄ということで、私たちはずっとお願いをしているのですが、町がすべきことは停止線とか、それで県がすべきのは、例えばスピード落とせとかその辺の表示は、今している状況です。信号については、ちょっと委ねるしかないのかなと思って、ずっと再々、警察の皆さんと会うたびに、どうしても事故多いよという話は、そして警察のほうもそれは重々わかっておるらしくて、その辺の中で、今後もそういう形の要望はしていきたいと思います。

○8番（上岡 義茂議員）

今年度も、やっぱりあそこは事故は小さい事故ではありますが、しょっちゅう起きているんです。そこんところよろしくお願いします。

それと、自衛隊誘致、これは私も情報を仕入れている中で、航空自衛隊の空港絡んできますので、町としては、あそこは県の管轄にもなりますので、空港は。県との連絡はしっかりとしながらの国のほうの要請もお願いしたいと思います。

以上です。

○議長（前田 芳作議員）

質疑ございませんか。

○7番（秋田 浩平議員）

16ページの5の財産管理費の中の委託料で不動産鑑定委託というのがありますが、これは何のあれなんでしょう、措置なんでしょうか。

○総務課長（米村 巖君）

お答えいたします。

この不動産鑑定は、西阿木名地区の住宅を建てるということの要望書が提出によって、場所的にも指定できてきましたので、事前準備という形でその土地の評価、いかほどするのかということで、その中で判断材料として今回調査を依頼すると。そ

れから以前からちょっと何といたしますか、秋利神の採石場、その中での土地の評価額、その2件、今回どうしても、要するに町としての判定材料を持ちながら、今後
に備えたいということで、今回補正で組まさせていただきました。

○議長（前田 芳作議員）

ほかにございませぬか。

（「質疑なし」と呼ぶ者多し）

○議長（前田 芳作議員）

これで質疑を終わります。

これから、議案第60号、平成30年度天城町一般会計歳入歳出予算補正（第3号）について討論を行います。

（「討論なし」と呼ぶ者多し）

○議長（前田 芳作議員）

討論なしと認めます。

これから、議案第60号、平成30年度天城町一般会計歳入歳出予算補正（第3号）について採決します。

お諮りします。本案は原案のとおり可決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者多し）

○議長（前田 芳作議員）

異議なしと認めます。よって、本案は原案のとおり可決されました。

これから、議案第61号、平成30年度天城町国民健康保険事業特別会計歳入歳出予算補正（第1号）について討論を行います。

（「討論なし」と呼ぶ者多し）

○議長（前田 芳作議員）

討論なしと認めます。

これから、議案第61号、平成30年度天城町国民健康保険事業特別会計歳入歳出予算補正（第1号）について採決します。

お諮りします。本案は原案のとおり可決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者多し）

○議長（前田 芳作議員）

異議なしと認めます。よって、本案は原案のとおり可決されました。

これから、議案第62号、平成30年度天城町介護保険事業特別会計歳入歳出予算補正（第1号）について討論を行います。

（「討論なし」と呼ぶ者多し）

○議長（前田 芳作議員）

討論なしと認めます。

これから、議案第62号、平成30年度天城町介護保険事業特別会計歳入歳出予算補正（第1号）について採決します。

お諮りします。本案は原案のとおり可決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者多し）

○議長（前田 芳作議員）

異議なしと認めます。よって、本案は原案のとおり可決されました。

これから、議案第63号、平成30年度天城町後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出予算補正（第1号）について討論を行います。

（「討論なし」と呼ぶ者多し）

○議長（前田 芳作議員）

討論なしと認めます。

これから、議案第63号、平成30年度天城町後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出予算補正（第1号）について採決します。

お諮りします。本案は原案のとおり可決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者多し）

○議長（前田 芳作議員）

異議なしと認めます。よって、本案は原案のとおり可決されました。

これから、議案第64号、平成30年度天城町簡易水度事業特別会計歳入歳出予算補正（第2号）について討論を行います。

（「討論なし」と呼ぶ者多し）

○議長（前田 芳作議員）

討論なしと認めます。

これから、議案第64号、平成30年度天城町簡易水度事業特別会計歳入歳出予算補正（第2号）について採決します。

お諮りします。本案は原案のとおり可決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者多し）

○議長（前田 芳作議員）

異議なしと認めます。よって、本案は原案のとおり可決されました。

△ 日程第6 議案第65号 平成29年度天城町一般会計歳入歳出決算の認定について

△ 日程第7 議案第66号 平成29年度天城町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について

- △ 日程第 8 議案第 6 7 号 平成 2 9 年度天城町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- △ 日程第 9 議案第 6 8 号 平成 2 9 年度天城町介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- △ 日程第 1 0 議案第 6 9 号 平成 2 9 年度天城町後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定について

○議長（前田 芳作議員）

日程第 6、議案第 6 5 号、平成 2 9 年度天城町一般会計歳入歳出決算の認定について、日程第 7、議案第 6 6 号、平成 2 9 年度天城町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について、日程第 8、議案第 6 7 号、平成 2 9 年度天城町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について、日程第 9、議案第 6 8 号、平成 2 9 年度天城町介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について、日程第 1 0、議案第 6 9 号、平成 2 9 年度天城町後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定について、以上 5 件を一括議題とします。

これらの議案について、提案理由の説明を求めます。

○町長（大久 幸助君）

議案第 6 5 号、平成 2 9 年度天城町一般会計歳入歳出決算について説明いたします。

本案は、地方自治法第 2 3 3 条第 3 項の規定に基づき、平成 2 9 年度天城町一般会計歳入歳出決算につきまして議会の認定を求めるものであります。

平成 2 9 年度歳入総額は 6 3 億 4 千 9 9 8 万 8 千円、歳出総額は 6 1 億 4 千 2 0 0 万円、歳入歳出し引き額は 2 億 7 9 8 万 8 千円となっております。うち、翌年度へ繰り越すべき財源として繰り越し明許費へ 8 百 1 2 万 7 千円で、実質収支額は 1 億 9 千 9 8 6 万 1 千円となっております。実質収支から前年度実質収支を差し引いた単年度収支は 2 千 9 0 8 万 4 千円の黒字で、単年度収支から基金増額を差し引いた実質単年度収支は 1 千 6 9 8 万 9 千円の黒字となっております。歳入決算におきましては、前年度比 7. 6 % 減の 6 3 億 4 千 9 9 8 万 8 千円となっております。その主なものは、町税が 4 億 4 8 2 万 6 千円、地方消費税交付金が 1 億 2 0 2 万 4 千円、地方交付税 2 9 億 3 千 2 4 9 万 8 千円、分担金及び負担金 5 千 3 3 0 万 4 千円、使用料及び手数料 9 千 9 8 7 万 6 千円、国庫支出金 6 億 9 千 5 3 2 万 3 千円、県支出金 4 億 9 6 9 万 6 千円、町債 6 億 2 千 4 4 5 万 6 千円となっております。

歳出決算におきましては、前年度比8.0%減の61億4千200万円となっております。目的別では、議会費は9千191万8千円、総務費が10億9千351万8千円、民生費が11億1千511万5千円、衛生費が4億1千759万円、農林水産業費は8億4千983万5千円、商工費は1億2千111万7千円、土木費が5億2千236万9千円、消防費が1億7千280万8千円、教育費が10億234万8千円、災害復旧費が208万4千円、公債費が7億5千329万8千円でございます。御審議のほどよろしくお願いいたします。

次に、議案第66号、平成29年度天城町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算について説明いたします。

主なものは、地方自治法第233条第3項の規定に基づき、平成29年度国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算につきまして、議会の認定を求めるものであります。平成29年度歳入総額は15億2千32万9千円、歳出総額は13億5千396万7千円、歳出歳入差し引き額は1億6千636万2千円となっております。

歳入の主なものは、国民健康保険税1億584万6千円、療養給付費交付金が600万4千円、共同事業交付金3億6千291万9千円、前期高齢者交付金1億1千166万8千円、国庫支出金4億7千567万4千円、県支出金が9千945万3千円、繰入金が2億1千979万6千円、繰越金が1億3千544万2千円となっております。

歳出の主なものは、総務費651万6千円、保険給付費7億2千418万2千円、共同事業拠出金3億3千958万9千円、保健事業費1千924万円、後期高齢者支援金1億1千318万8千円、介護納付金6千137万5千円、基金積立金8千79万3千円、諸支出金857万円となっております。御審議のほどよろしくお願いいたします。

議案第67号、平成29年度天城町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算について申し上げます。

本案は、地方自治法第233条第3項の規定に基づき、平成29年度天城町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算につきまして、議会の認定を求めるものであります。平成29年度歳入総額は2億3千436万5千円、歳出総額は2億3千137万4千円で、歳出歳入差し引き額は299万1千円となっております。

歳入の主なものは、使用料及び手数料9千747万6千円、国庫支出金4千224万8千円、繰入金が4千503万5千円、繰越金622万8千円、町債4千220万円となっております。

歳出の主なものは、一般管理費4千986万5千円、維持管理費4千819万9千円、与名間簡易水道事業費3千8万3千円、中部簡易水道事業費5千443万

円、公債費4千875万5千円となっております。御審議のほどよろしくお願いたします。

次に、議案第68号、平成29年度天城町介護保険事業特別会計歳入歳出決算について説明いたします。

本案は、地方自治法第233条第3項の規定に基づき、平成29年度介護保険事業特別会計歳入歳出決算について、議会の認定を求めるものでございます。

歳入総額は9億2千479万9千円、歳出総額は8億9千244万円、歳入歳出差し引き額は3千235万9千円となっております。

歳入の主なものは、介護保険料1億830万8千円、支払基金交付金が2億3千427万6千円、国庫支出金が2億6千704万3千円、県支出金が1億3千241万7千円、繰入金が1億4千251万8千円、繰越金が3千760万円、諸収入が258万7千円となっております。

歳出の主なものは、総務費2千124万2千円、保険給付費8億3千53万1千円、地域支援事業費1千882万8千円となっております。御審議のほどお願いたします。

次に、議案第69号、平成29年度天城町後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算について説明いたします。

本案は、地方自治法第233条第3項の規定に基づき、平成29年度後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算につきまして、議会の認定を求めるものです。平成29年度、歳入総額は7千167万4千円、歳出総額は6千924万6千円、歳入歳出差し引き額は242万8千円となっております。

歳入の主なものは、後期高齢者医療保険料3千412万8千円、繰入金3千516万2千円、繰越金160万3千円、諸収入77万4千円となっております。

歳出の主なものは、総務費139万9千円、後期高齢者医療広域連合納付金が6千784万6千円となっております。

以上、審議のほどよろしくお願いたします。

以上でございます。

○議長（前田 芳作議員）

しばらく休憩します。午後1時再開します。

休憩 午前11時54分

再開 午後 1時00分

○議長（前田 芳作議員）

休憩前に引き続き、会議を開きます。

これから質疑を行います。所管外のみを希望いたします。また、ページ数も述べてから質疑をいただきたいと思っております。質疑ございませんか。

○8番（上岡 義茂議員）

ページ数の19ページ、財産課の財産収入、節の建物貸付収入、滞納繰越分の9万8千円ですね、収入未済額が、これも10年余るかと思っておりますが、もう毎年決算のときこの数字上がってきています。これ確か総務のほうのと思っておりますが、前回は引継ぎ、引継ぎ、課長時代全部たださしていると思っております。これどうにかなりませんですかね。

○教委総務課長（基田 雅美君）

お答えします。

私も来て事情等全部把握しております。こないだ言われたのが、やはり親戚関係等ももう一度再度お願いしたらということで、今年度はそこまでちょっと頑張りたいなと思っております。

○8番（上岡 義茂議員）

決算のたびに課長変わるたびに永遠とこれ続くんです。どうにかこれを今年あたりはしっかりと。今年は可能じゃないかねと思うんです。どうにか処分してください。

○議長（前田 芳作議員）

ほかにごございませんか。

（「質疑なし」と呼ぶ者多し）

○議長（前田 芳作議員）

質疑もないようですので、これで質疑を終わります。

ただいま議題となっております、議案第65号、平成29年度天城町一般会計歳入歳出決算の認定について、議案第66号、平成29年度天城町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について、議案第67号、平成29年度天城町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について、議案第68号、平成29年度天城町介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について、議案第69号、平成29年度天城町後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定について、お手元にお配りしました議案付託表のとおり、それぞれの所管の常任委員会付託したいと思います。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者多し）

○議長（前田 芳作議員）

異議なしと認めます。よって、議案第65号から議案第69号は、それぞれの所管の常任委員会に付託することに決定しました。

以上で、本日の日程は全部終了しました。

これからは委員会とし、次の会議は9月21日金曜日午前10時より開会します。
本日はこれで散会します。

散会 午後 1時05分